

# 『時事直言』 No.1512 2021年11月10日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[twitter 日本語] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T\\_Masuda\\_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng)

[instagram] [t\\_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

## コロナも温室効果ガス(二酸化炭素)も必要悪

人の命と経済を襲ったコロナは 2015 年、地球環境を破壊し、人間社会を破滅に追い込むと言われる温室効果ガス問題の準備は 2018 年から始まった。

コロナや温室効果ガス対策に必要な資金がいくら膨大であろうと、また如何に財政が困窮していても国家は支出しなくてはならないし、又それに国民は反対しない。

国家は国民を生命の危機から守る為には「無い袖を振る」ものである。

資本主義社会において、国家が存在する為には常に資金を使う事態が存続しなくてはならない。

生まれた子供にゆりかごから墓場まで一時の途切れもなく金がかかり続けるのと同じである。

2001 年 9 月 11 日 WTC(ニューヨークの国際貿易センター)爆破から始まったテロとの戦いは 20 年後 2021 年 9 月米軍のアフガン撤退、タリバン政権復帰で終わった。

かかった費用は約 8 兆ドル(900 兆円)、死者約 90 万人であった。

国家が強制的に支出を余儀なくされるのは戦争と災害である。

テロとの戦いが終わる前に次なる強制的支出先を準備しなくてはならなかった。

古い支出から新しい支出まで一時も間隙があってはならないのである。

2020 年 3 月コロナが世界を襲い始め、今日 2021 年 11 月 COP26 で次なる支出が決まろうとしている。

テロとの戦いでテロ国家タリバンを撃滅しようと、しなかりと問題ではない。

重要なのは次なる強制支出が準備されたらテロとの戦いを止めればいいのである。

私は 2005 年からワシントン DC と NY のシンクタンクで、21 世紀の経済牽引車は、花咲か爺が灰を撒いて咲かせる花ではなく、肥料と水を毎日やって咲かせる本物の桜の花だと言い続けて来た。

今用意されたグリーン産業が脱温室効果ガス廃絶の為に効果があろうとなかりと問題ではない。

それはタリバンが復帰したように 2030 年になれば分かる。

今後 20 年、テロとの戦いで使わざるを得なかった 900 兆円の何倍使わされるかが問題である。

本日の「増田俊男のインターネット国際政経塾」で何の為のコロナか、何故温室効果ガス廃絶なのかについて述べた。

他人に教える必要はないが、真実を知っておけばあなただけの役に立ちます。

### 増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

投資にビジネスに一番役に立つ「ここ一番」。

「明日では遅過ぎるナウな情報」をその場で必ずお送りします。

現在、増田俊男の「ここ一番！」を FAX 又は e-mail にて配信しております。

詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S.リサーチジャパン(株)Tel: 03-3956-8888、

HP: [www.chokugen.com](http://www.chokugen.com) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。